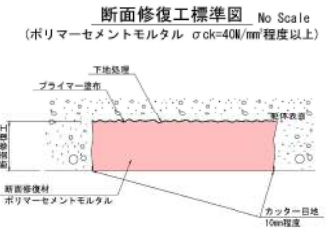
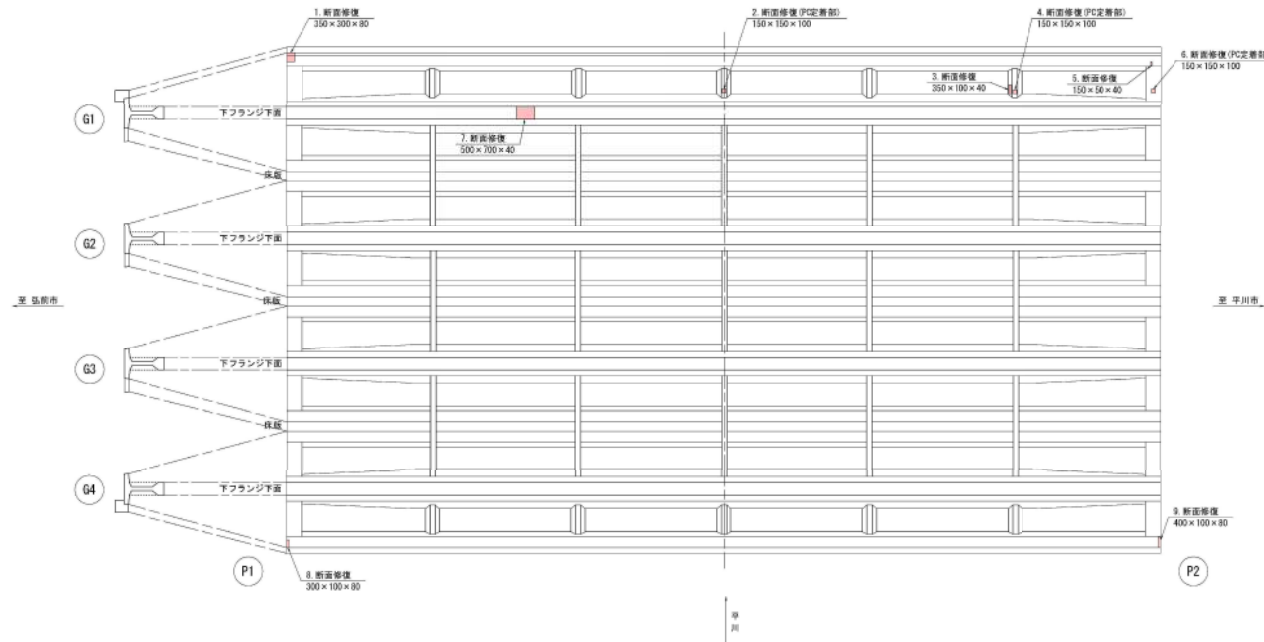


年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(2/7)
縮尺	図示
図面番号	24業9

弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(2/7)

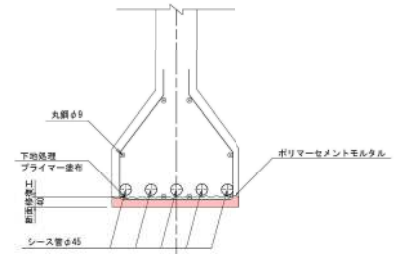
主桁・床版補修図 S=1:100  
SPAN2



注記)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. PC定着部のはつりは橋脚の損傷を与えないように注意すること。
3. カッター目地は橋脚数を換算させないように注意すること。
4. 脆質な劣化コンクリートは、全てはつり、表面補修を行うこと。

断面修復工標準図 No Scale  
(主桁下フランジ)



断面修復工(左官工法)

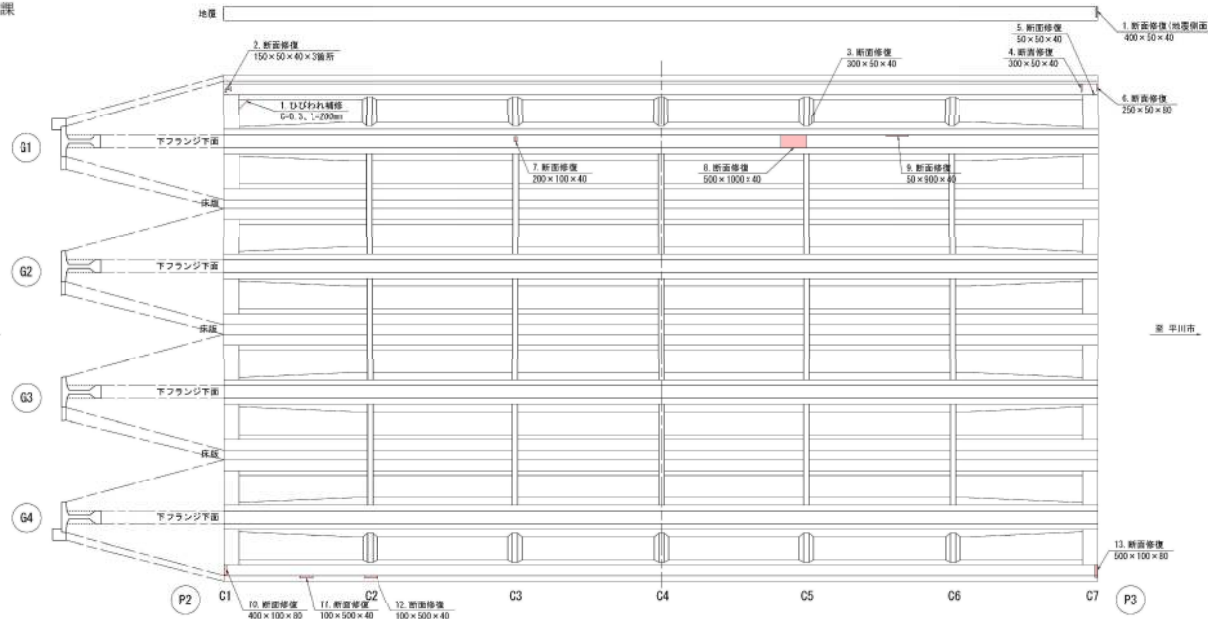
番号	サイズ	備 考
1	350×300×80	主桁
2	150×150×100	PC定着部
3	350×100×40	横桁
4	150×150×100	PC定着部
5	150×50×40	主桁
6	150×150×100	PC定着部
7	500×700×40	主桁
8	300×100×80	主桁
9	400×100×80	主桁

年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(3/7)
縮尺	図示
図面番号	24 薬 10

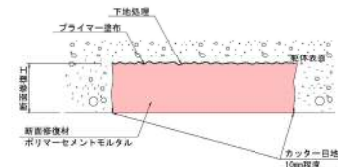
弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(3/7)

主桁・床版補修図 S=1:100  
SPAN3



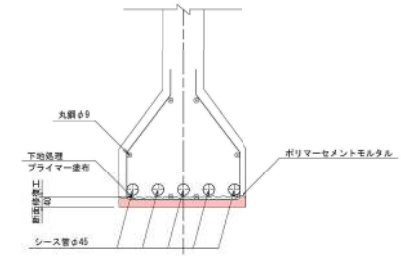
断面修復工標準図 No Scale  
(ポリマーセメントモルタル  $\sigma_{ck}=40N/mm^2$ 程度以上)



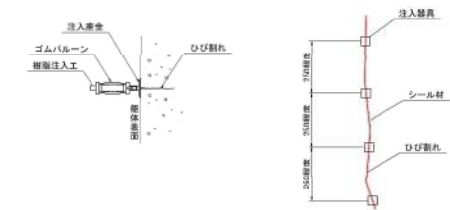
注記)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. PC定着部のはつりは機械的に損傷を与えないように注意すること。
3. カッター目地は断面数を換算させないように注意すること。
4. 脆質な劣化コンクリートは、全てはつり、表面補修を行うこと。

断面修復工標準図 No Scale  
(主桁下フランジ)



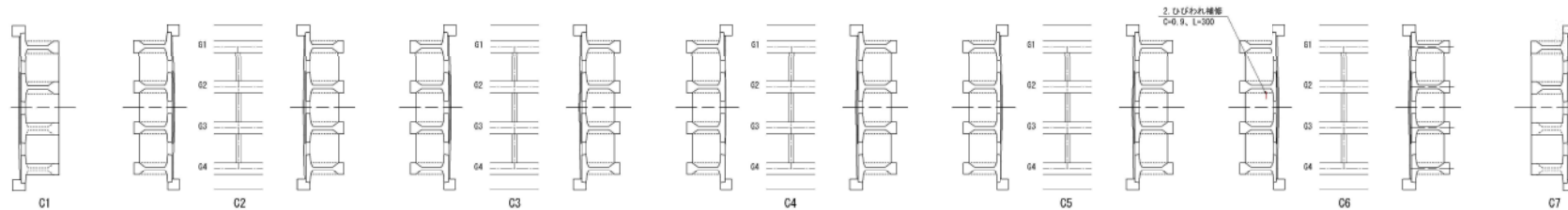
ひび割れ補修工詳細図 No Scale  
(低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm~1.0mm)



番号	サイズ	備考
1	400 × 50 × 40	地盤側面
2	150 × 50 × 40 × 3箇所	主桁
3	300 × 50 × 40	主桁
4	300 × 50 × 40	主桁
5	50 × 50 × 40	主桁
6	250 × 50 × 30	主桁
7	200 × 100 × 40	主桁
8	500 × 1000 × 40	主桁
9	50 × 900 × 40	主桁
10	400 × 100 × 80	主桁
11	100 × 500 × 40	主桁
12	100 × 500 × 40	主桁
13	500 × 100 × 80	主桁

番号	サイズ	備考
1	C=0.9, L=200mm	主桁
2	C=0.9, L=300mm	橋桁

横桁補修図 S=1:100



年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(4/7)
縮尺	図示
図面番号	24 薬 11

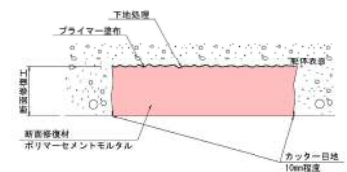
弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(4/7)

主桁・床版補修図 S=1:100  
SPAN4



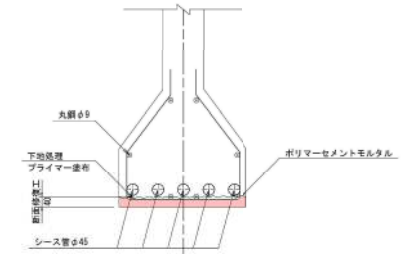
断面修復工標準図 No Scale  
(ポリマーセメントモルタル σck=40N/mm程度以上)



注記)

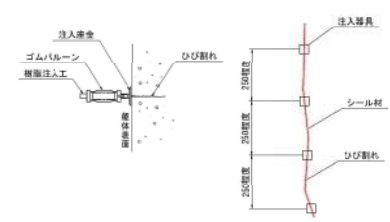
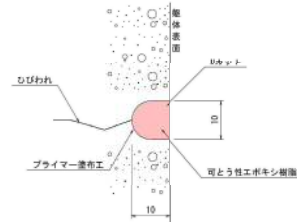
1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. PC定着部のはつりは機械的に損傷を与えないように注意すること。
3. カッター目地は高圧水を併用せよように注意すること。
4. 脆質な硬化コンクリートは、全てはつり、表面補修を行うこと。

断面修復工標準図 No Scale  
(主桁下フランジ)



ひびわれ補修工詳細図 No Scale  
(低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm~1.0mm)

ひびわれ補修工詳細図 No Scale  
(充てん工法、ひびわれ幅1.0mm以上)



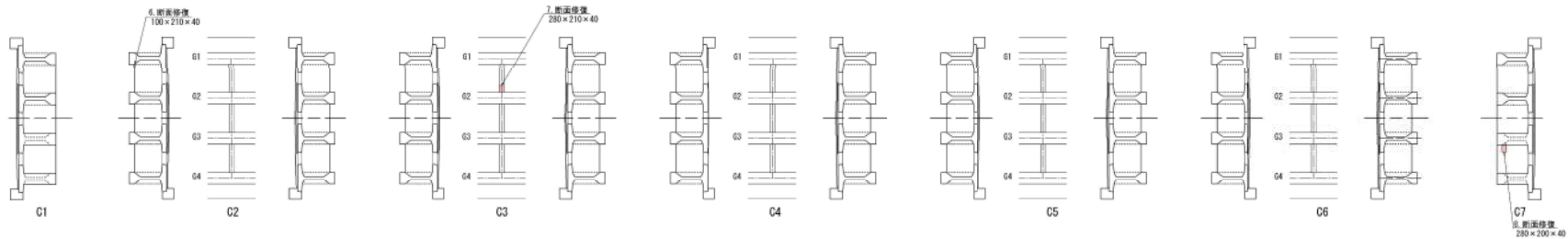
番号	サイズ	備 考
1	400×500×80	主桁
2	250×150×40×4箇所	床版
3	300×150×40	床版
4	400×150×80	主桁
5	400×500×80	主桁
6	100×210×40	横桁
7	280×210×40	横桁
8	280×200×40	横桁

番号	サイズ	備 考
1	φ=3 L=1500mm	主桁

番号	サイズ	備 考
1	φ=1.0 L=500mm	主桁
2	φ=1.2 L=600mm	主桁

横桁補修図 S=1:100

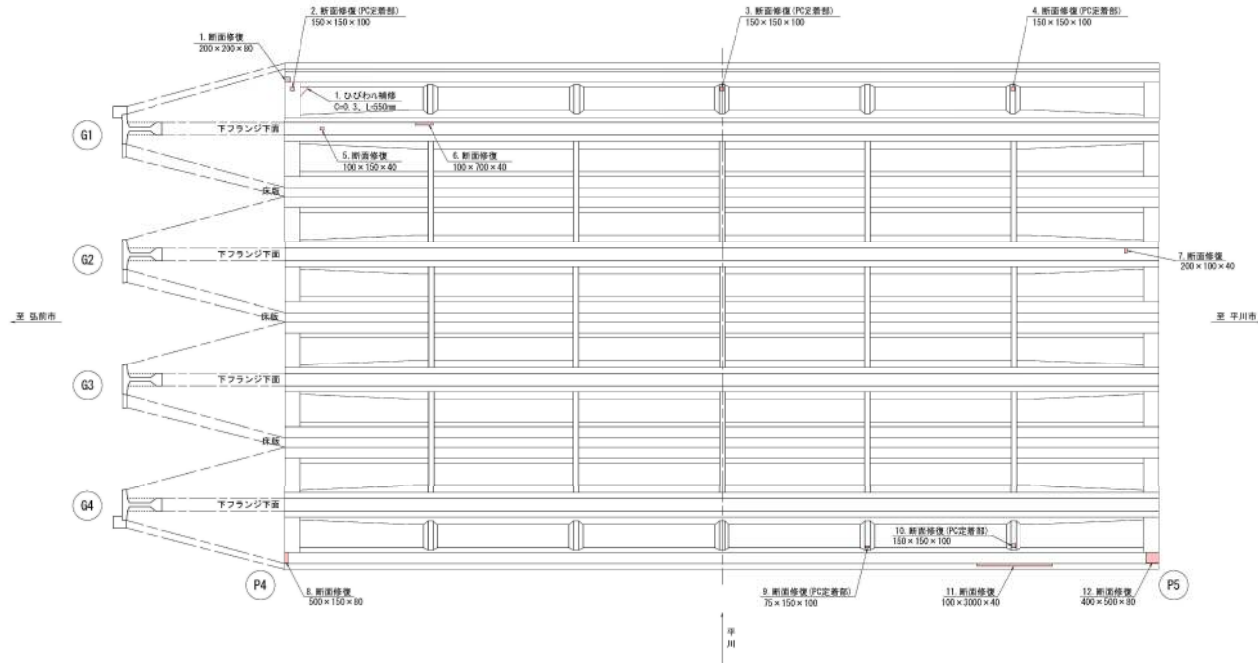


年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(5/7)
縮尺	図示
図面番号	24 薬 12

弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(5/7)

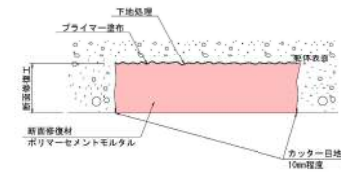
### 主桁・床版補修図 S=1:100 SPAN5



番号	サイズ	備考
1	200×200×80	主桁
2	150×150×100	PC定着部
3	150×150×100	PC定着部
4	150×150×100	PC定着部
5	100×150×40	主桁
6	100×700×40	主桁
7	200×100×40	主桁
8	500×150×80	主桁
9	75×150×100	PC定着部
10	150×150×100	PC定着部
11	100×2000×40	主桁
12	400×500×80	主桁

番号	サイズ	備考
1	φ0.3 L-550mm	主桁

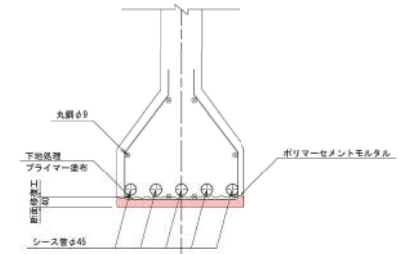
断面修復工標準図 No Scale  
(ポリマーセメントモルタル σ<sub>ck</sub>=40N/mm<sup>2</sup>程度以上)



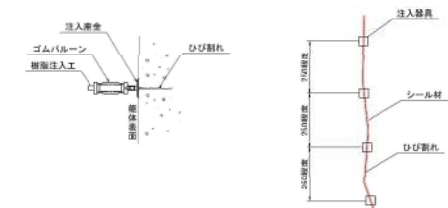
注記)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. PC定着部のはつりは横線に揃えをえないように注意すること。
3. カッター目地は高部数を揃えをえないように注意すること。
4. 脆質な硬化コンクリートは、全てはつり、表面補修を行うこと。

断面修復工標準図 No Scale  
(主桁下フランジ)



ひび割れ補修工詳細図 No Scale  
(低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm～1.0mm)

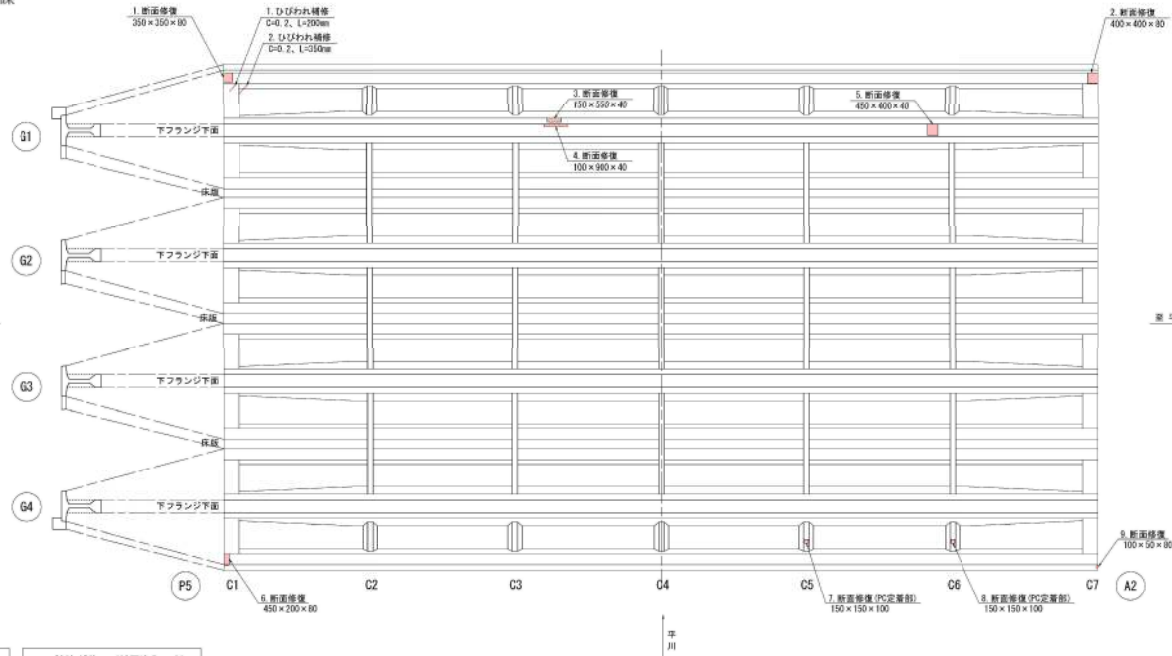


年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(6/7)
縮尺	図示
図面番号	24 薬 13

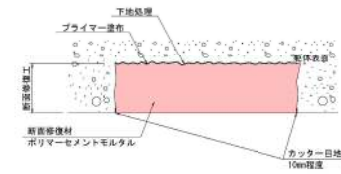
弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(6/7)

### 主桁・床版補修図 S=1:100 SPAN6



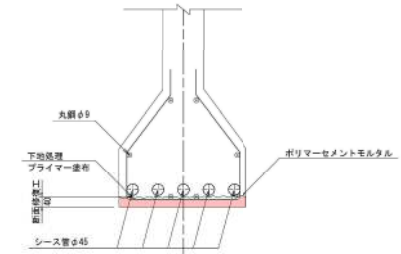
### 断面修復工標準図 No Scale (ポリマーセメントモルタル σ<sub>ck</sub>=40N/mm<sup>2</sup>程度以上)



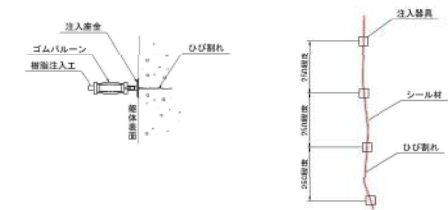
注記)

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. PC定着部のはつりは機械的に損傷を与えないように注意すること。
3. カッター目地は既設鉄筋を損傷させないように注意すること。
4. 既設な劣化コンクリートは、全てはつり、表面修繕を行うこと。

### 断面修復工標準図 No Scale (主桁下フランジ)



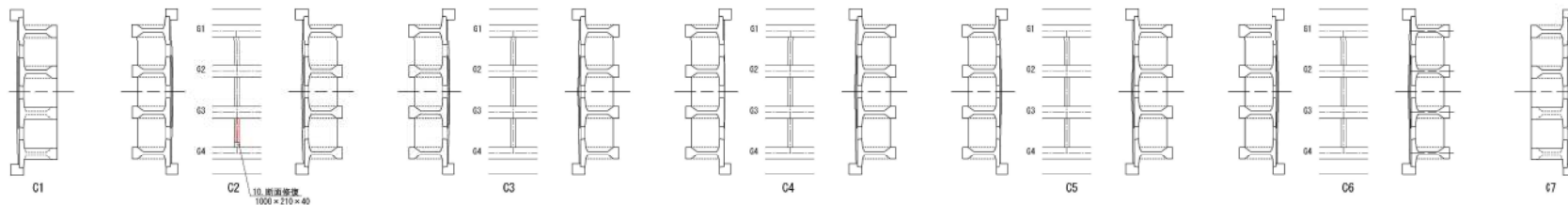
### ひび割れ補修工詳細図 No Scale (低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm~1.0mm)



番号	サイズ	備 考
1	350×350×80	主桁
2	400×400×80	主桁
3	150×350×40	主桁
4	100×900×40	主桁
5	450×400×40	主桁
6	450×200×80	主桁
7	150×150×100	PC定着部
8	150×150×100	PC定着部
9	100×50×80	主桁
10	1000×210×40	橋板

番号	サイズ	備 考
1	C-0.2 L=200mm	主桁
2	C-0.2 L=350mm	主桁

### 横桁補修図 S=1:100

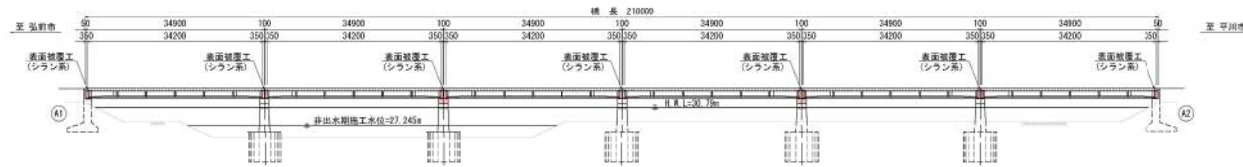


年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	上部工補修図(7/7)
縮尺	図示
図面番号	24 薬 14

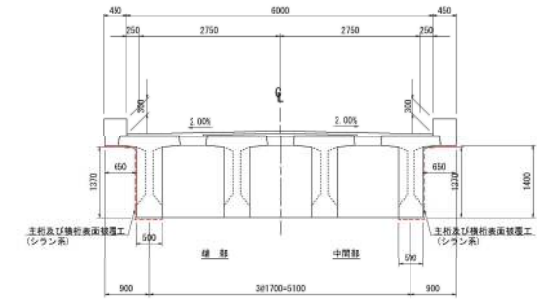
弘前市 建設部 土木課

## 上部工補修図(7/7)

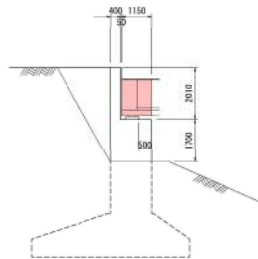
側面図 S=1:500



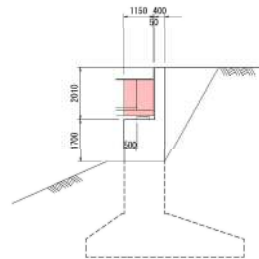
断面図 S=1:50



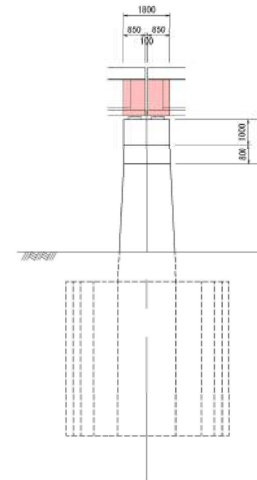
A1橋台側面図 S=1:100



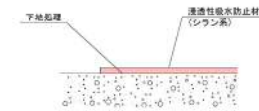
A2橋台側面図 S=1:100



橋脚側面図 S=1:100



表面被覆工 No Scale



特記事項

- 1) 図中詳細寸法は、現地計測のうえ決定すること。
- 2) ロンクリート下地処理は十分行い、新設交差が生じた場合は実施すること。

年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	下部工補修図(1/6)
縮尺	図示
図面番号	2.4 薬 1.5

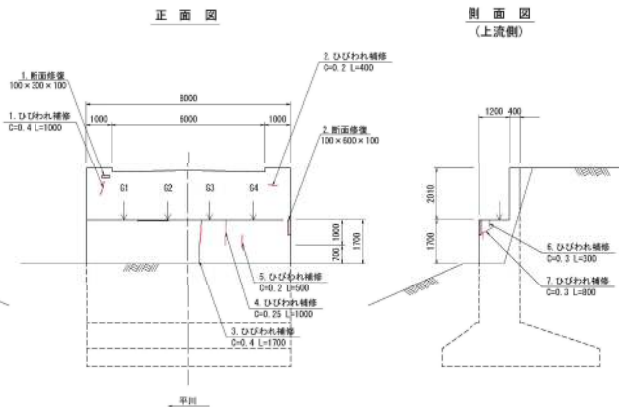
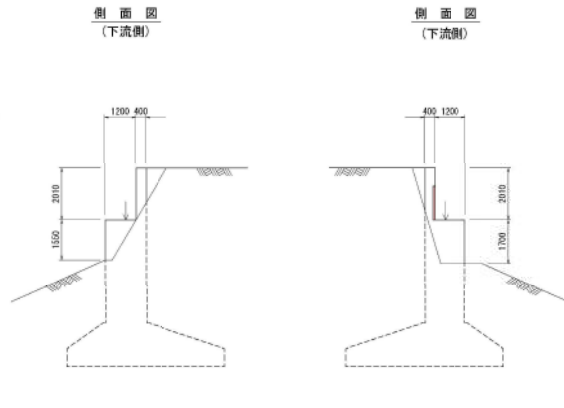
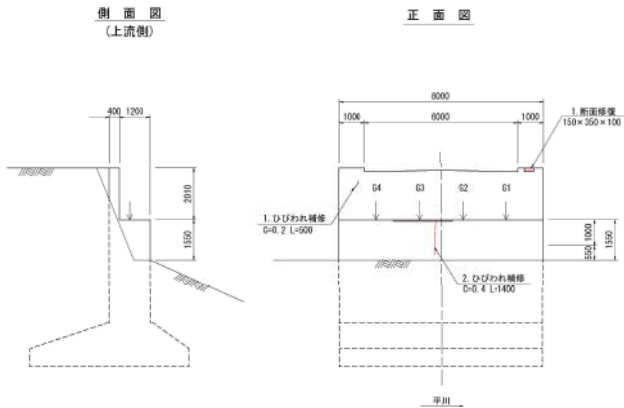
## 下部工補修図(1/6)

### A1・A2橋台

弘前市 建設部 土木課

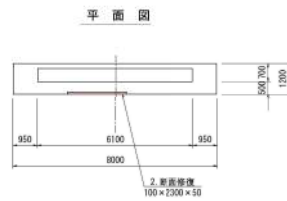
A1橋台補修図 S=1:100

A2橋台補修図 S=1:100



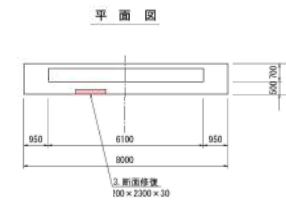
番号	サイズ	備考
1	150×350×100	調整
2	100×2300×50	調整

番号	サイズ	備考
1	φ=0.2 L=500mm	調整
2	φ=0.4 L=1400mm	調整

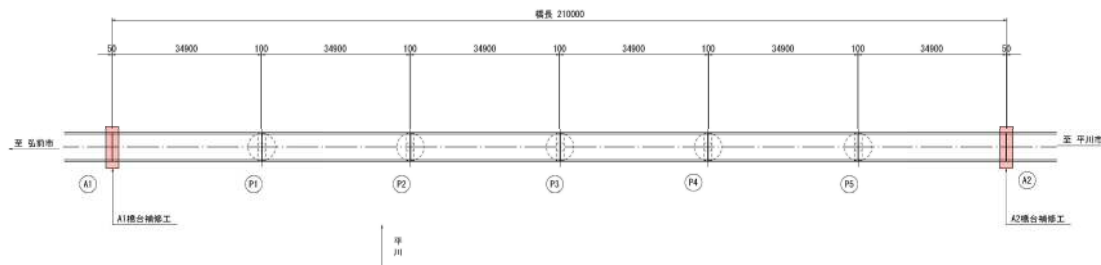


番号	サイズ	備考
1	100×300×100	調整
2	100×600×100	調整
3	240×2300×30	調整

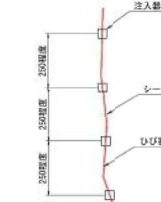
番号	サイズ	備考
1	φ=0.4 L=1000mm	調整
2	φ=0.2 L=600mm	調整
3	φ=0.4 L=1700mm	調整
4	φ=0.25 L=1000mm	調整
5	φ=0.2 L=500mm	調整
6	φ=0.3 L=300mm	調整
7	φ=0.3 L=800mm	調整



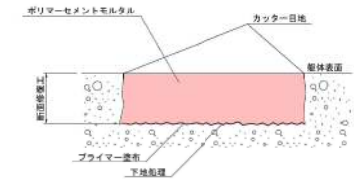
位置図 S=1:600



ひびわれ補修工詳細図 No Scale  
(低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm~1.0mm)



断面修復詳細図 No Scale  
(ポリマーセメントモルタル σ<sub>ck</sub>=21N/mm<sup>2</sup>程度以上)



- 特記事項
1. 箇中詳細寸法は、現地計測、確認のうえ決定すること。
  2. コングリート下地処理は十分行い、断面欠損が生じた場合は修復すること。
  3. 既設鉄筋は防錆処理を行うこと。

年度	令和6年度
工事名	令和5年度 大豊橋橋梁補修工事
路線名	市道 高田苗生松線
施工箇所	弘前市大字 新里 地内
図面名称	下部工補修図(2/6)
縮尺	図示
図面番号	2.4 葉 1.6

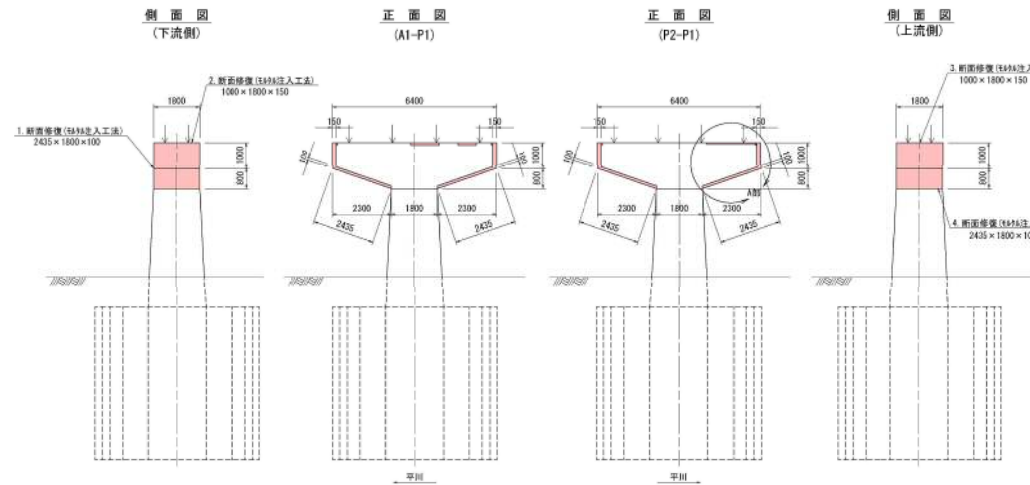
弘前市 建設部 土木課

## 下部工補修図(2/6)

### P1橋脚

P1橋脚補修図 S=1:100

断面修復詳細図 No Scale

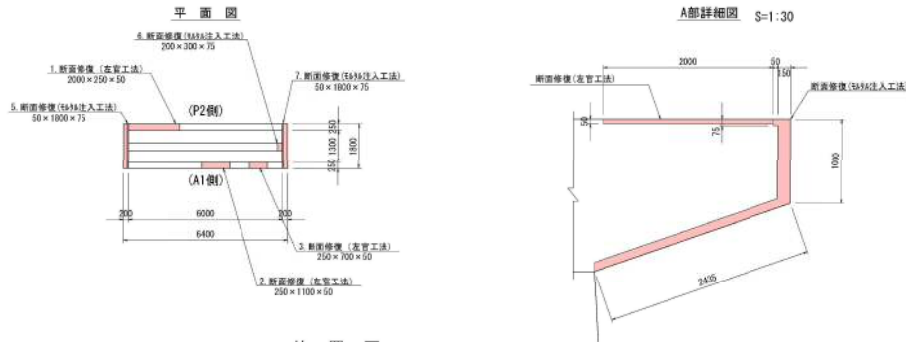


断面修復工(鉄筋注入工法)

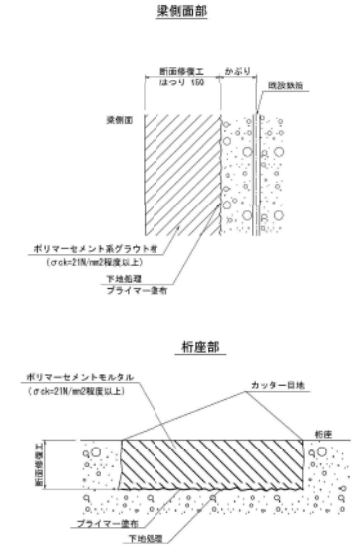
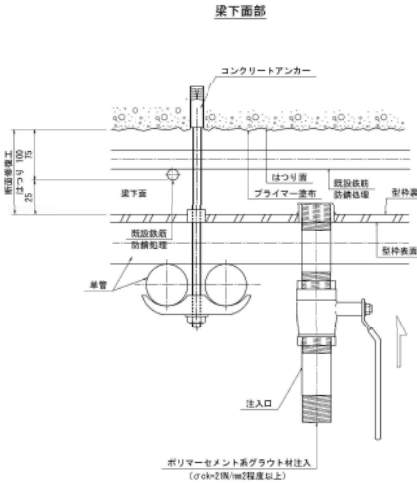
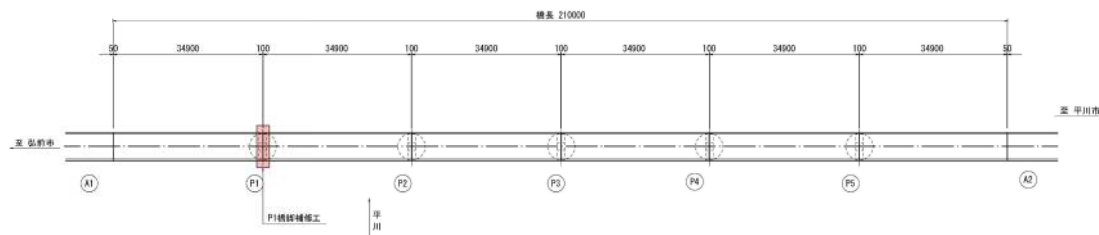
番号	サイズ	備考
1	2435×1800×100	梁
2	1000×1800×150	梁
3	1000×1800×150	梁
4	2435×1800×100	梁
5	50×1800×75	梁
6	200×300×75	梁
7	50×1400×75	梁

断面修復工(左官工法)

番号	サイズ	備考
1	2000×250×50	梁
2	250×1100×50	梁
3	250×700×50	梁



位置図 S=1:600



- 特記事項
1. 図中詳細寸法は、現地計測、確認のうえ決定すること。
  2. コンクリート下地処理は十分行い、断面欠損が生じた場合は修復すること。
  3. 既設鉄筋は筋絡整理を行うこと。

既設配筋図 S=1:30

